

「森林 × デザイン」をテーマとする次世代のクリエイター育成公開講座。

#里山資源 #サステナブル #クリエイター育成 #デザイン思考 #プロジェクトマネジメント
#社会課題解決 #産官学連携 #リカレント教育

新規
開講

ミライ フォレスト サークル

vol.01

里山の森の資源を、未来へつなごう。

MIRAI FOREST CIRCLE

「堂徳山の防災林から始まる物語」

東 若菜 (神戸大学大学院農学研究科 准教授)

「木の流通からみる街と森の関係」

ヤマサキマサオ (SHARE WOODS 代表)

「作り手としての木材への目線」

馬場田 研吾 (BABATA WOOD DESIGN 代表)

2025年8月2日(土)

開講時間：17:30-20:00

開講場所：KOBЕ Co-Creation Center

2025
8/2
(土)

募集定員
30名
※先着

受講料
無料

お申し込みはこちら
※定員に達し次第締め切り



主催：(一社)大学都市神戸産官学プラットフォーム

神戸芸術工科大学

KOBЕ 神戸大学

神戸の豊かな森林資源を中心とする里山価値の創出、向上プロジェクト

公開講座・講師一覧



東 若菜 「堂徳山の防災林とそこからはじまる物語」

Wakana AZUMA / 神戸大学大学院農学研究科 准教授

1988 年兵庫県明石市生まれ。神戸大学大学院農学研究科博士後期課程修了。農学博士。専門は森林生態学と樹木生理学。ツリークライミングや観測タワーなどを用いた林冠から地表までの野外調査、光合成や水利用などの生理測定、組織や細胞の構造などの解剖測定などをベースとし、様々な環境に生育する樹木の生理生態（生命活動）を紐解き、樹木と他の生物との関わり合いを明らかにすることを目指す。また、森林と人間社会の持続的な関係性の構築を目指した実証的な研究に取り組んでいる。



馬場田 研吾 「作り手としての木材への目線」

Kengo BABATA / BABATA WOOD DESIGN 代表

BABATA WOOD DESIGN 主宰。神戸芸術工科大学修士課程修了。

1981 年兵庫県西宮市生まれ。工業デザインを学んだ後、家具工房やメーカーでの実務経験、大学勤務や大学院での研究を経て、2018 年に独立。地域材を活かした商品開発のほか、オリジナル家具の製作、展示やワークショップにも取り組み、近年では海外にも活動の場を広げている。



ヤマサキマサオ 「木の流通からみる街と森の関係」

Masao YAMASAKI / SHARE WOODS 代表

大学卒業後出版社勤務を経てドイツ木材メーカーの輸入代理店に勤務。2009 年に間伐材を活用した打楽器「カホン」を手づくりする「カホンプロジェクト」を創設し、日本全国の森との関わりを深め全国各地の地域材を活用したプロジェクトに携わる。2013 年に、木に関わる情報と販売のプラットフォーム「SHARE WOODS」を設立。全国各地の森林や林業関係者、行政団体と連携しながら、デザインやものづくりを通して地域材のブランディングや流通の仕組みづくりをすすめている。

私たちのプロジェクトについて

ABOUT OUR PROJECT

<https://shorturl.at/Bplfz>

本プロジェクトは、神戸芸術工科大学がプロジェクトリーダーとなり、六甲山系の森林資源を活かしながら、地域との新たなつながりを生み出すとともに、神戸ならではの里山資源の価値向上を目指します。

また、農学と芸術の視点から、森林保全、地域資源の活用、デザイン思考を融合した新たな森林活用モデルを提案できる人材の育成に取り組んでいます。

○森林資源や里山に関するリテラシー教育と専門人材育成

○里山価値への理解促進と教育普及（木育）

○産学連携による商品開発 etc.

PROJECT HP



六甲山クリエイティブラボでの
フィールドワークの様子▶



公開講座の開催

森林事業に関わる職種から、建築家、デザイナー、エンジニアなど、幅広い分野から講師を招き、ディスカッションを通して、新たな森林活用モデルを探求します。

ワークショップの企画

神戸の整備材を、クリエイターのアイデアでプロダクト化するなど、実際に手に触れ、加工をすることを通じて、より身近に感じてもらいます。

プロトタイプ制作

六甲山と街の間にある防災林から切り出された整備材を用い、クリエイターによって、物語を汲んだ新しいプロダクトの提案を行います。

